

## II-1 訪日外国人の旅行動向

### 1 2024年の訪日旅行の概況

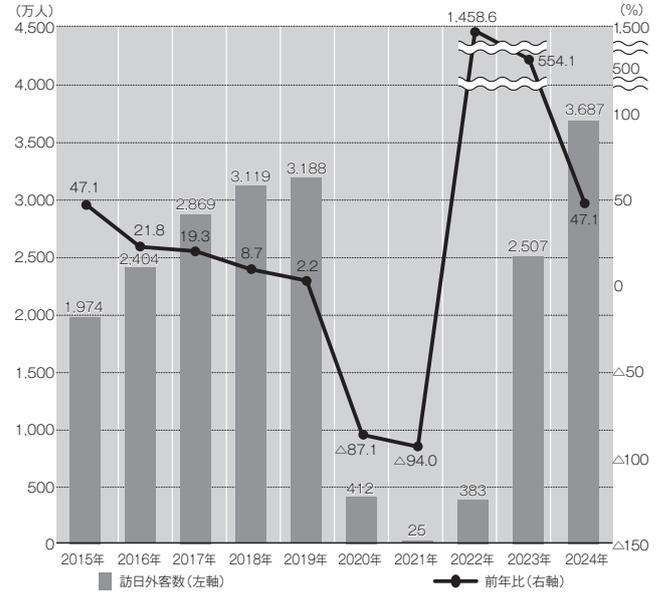
訪日外客数は前年比47.1%増の3,687万人  
旅行消費額は前年比53.1%増の8兆1,257億円  
いずれも過去最高

#### (1) 訪日外客数の動向

日本政府観光局(JNTO)によると、2024年の訪日外客数は3,687万人であった。2019年まで増加を続けていた訪日外客数は、新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年から2022年までの3年間は大幅に減少した。2024年はコロナ禍前を上回り、過去最多となった(図II-1-1)。

また、国籍・地域別に見ると、2024年の訪日外国人のうちクルーズ客を除いた一般客(以下、一般客)数で最も人数が多かったのは韓国で879.4万人、次いで中国が611万人、台湾が577.3万人であり、前年からの伸びに対する寄与度で見ても、この3か国籍・地域の影響が大きい。また、前年比の上位3か国籍・地域は、中国、ロシア、スペインとなっており、2024年は特に中国の回復による影響が大きい一年であった(表II-1-1)。

図II-1-1 訪日外客数の推移



(注)2024年の訪日外客数は暫定値を使用している。

資料：日本政府観光局「訪日外客数」

表II-1-1 2024年における訪日外客数と訪日外国人旅行消費額

2024年	訪日外客数(人)			一人当たり旅行支出 (円/人)	訪日外国人旅行消費額(億円)					
	シェア (%)	前年比 (%)	寄与度 (%)		前年比 (%)	シェア (%)	前年比 (%)	寄与度 (%)		
全国籍・地域	35,613,630	96.6	43.0	42.7	226,851	6.6	80,790	99.4	52.5	52.4
韓国	8,794,372	23.9	26.6	7.4	109,103	2.6	9,595	11.8	30.0	4.2
台湾	5,773,161	15.7	39.9	6.6	187,512	△0.8	10,825	13.3	38.7	5.7
香港	2,651,216	7.2	25.7	2.2	248,882	9.5	6,598	8.1	37.5	3.4
中国	6,110,349	16.6	158.6	15.0	276,604	△13.6	16,901	20.8	123.4	17.6
タイ	1,147,048	3.1	15.2	0.6	197,305	2.0	2,263	2.8	17.5	0.6
シンガポール	688,307	1.9	16.4	0.4	291,047	0.4	2,003	2.5	16.9	0.5
マレーシア	503,958	1.4	21.3	0.4	216,437	△3.4	1,091	1.3	17.2	0.3
インドネシア	515,468	1.4	20.1	0.3	215,034	8.4	1,108	1.4	30.1	0.5
フィリピン	813,288	2.2	30.7	0.8	185,518	4.6	1,509	1.9	36.8	0.8
ベトナム	620,249	1.7	8.1	0.2	221,401	4.8	1,373	1.7	13.2	0.3
インド	232,342	0.6	39.6	0.3	241,590	4.3	561	0.7	45.7	0.3
イギリス	434,708	1.2	35.6	0.5	381,318	16.4	1,658	2.0	57.9	1.1
ドイツ	314,831	0.9	37.5	0.3	333,027	10.4	1,048	1.3	51.8	0.7
フランス	384,145	1.0	38.8	0.4	360,952	9.6	1,387	1.7	52.1	0.9
イタリア	229,031	0.6	50.6	0.3	358,471	7.2	821	1.0	61.4	0.6
スペイン	181,872	0.5	57.2	0.3	368,428	9.6	670	0.8	72.3	0.5
ロシア	97,146	0.3	131.7	0.2	327,325	26.5	318	0.4	193.2	0.4
アメリカ	2,713,492	7.4	32.7	2.7	331,976	11.8	9,008	11.1	48.4	5.5
カナダ	576,053	1.6	35.4	0.6	306,272	10.4	1,764	2.2	49.4	1.1
オーストラリア	917,449	2.5	49.7	1.2	380,492	11.7	3,491	4.3	67.2	2.6
その他	1,915,145	5.2	42.6	2.3	354,834	10.5	6,796	8.4	57.7	4.7
クルーズ客	1,256,518	3.4	654.8	4.3	37,148	△29.2	467	0.6	434.8	0.7
全体	36,870,148	100.0	47.1	47.1	-	-	81,257	100.0	53.1	53.1

(注)訪日外客数は暫定値を使用している。

■シェアは上位3つの国籍・地域、前年比は増加幅が大きい3つの国籍・地域、寄与度はプラスの影響が大きい3つの国籍・地域にそれぞれ色付けしている。

資料：日本政府観光局「訪日外客数」、観光庁「インバウンド消費動向調査」

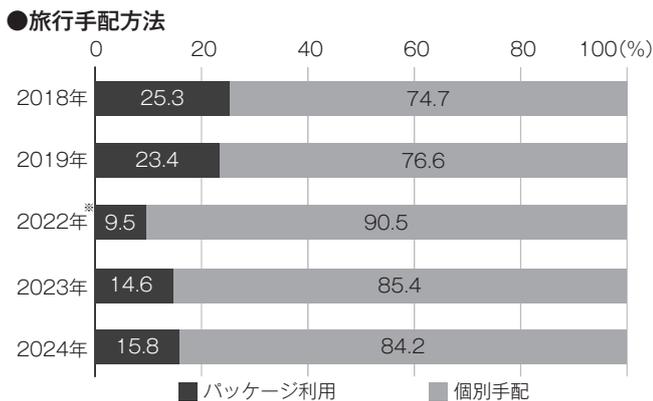
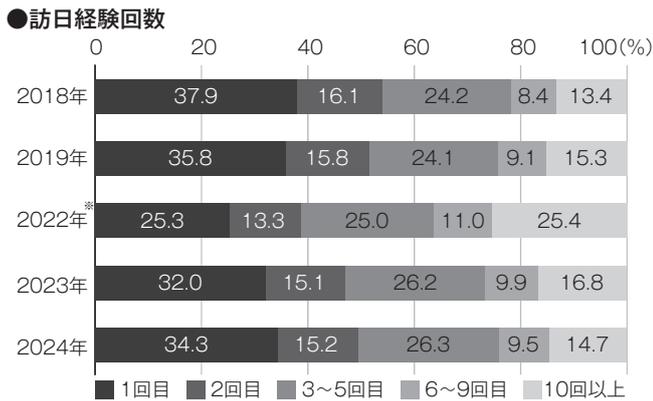
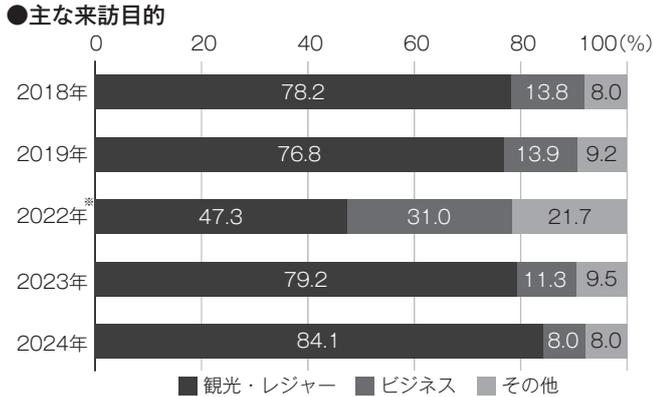
(2) 客層の変化

観光庁「インバウンド消費動向調査(旧 訪日外国人消費動向調査)」によると、2024年の「観光・レジャー」目的の割合は84.1%であり、2018年以降で最も高い割合となった。

訪日経験回数は、「1回目」が34.3%、「10回以上」のリピーターが14.7%となっており、2019年以前や前年の傾向と同様であった。

旅行手配方法は、前年に引き続き、「個別手配」の割合が約85%と高い傾向にある(図II-1-2)。

図II-1-2 訪日外国人の客層変化



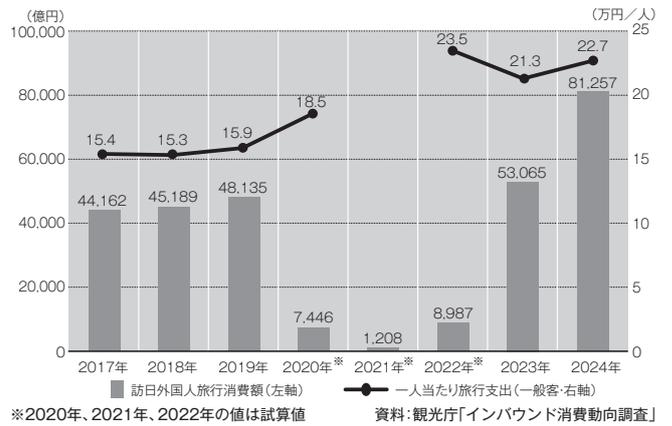
\*2022年の値は試算値  
(注)「パッケージ利用」は、「団体パッケージツアー」ならびに「個人旅行向けパッケージ商品」を含む。  
資料:観光庁「インバウンド消費動向調査」

(3) 旅行支出の動向

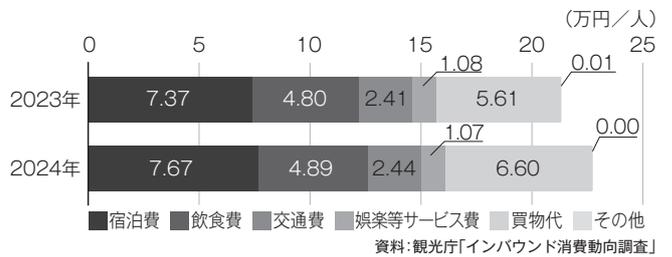
観光庁「インバウンド消費動向調査」によると、2024年の訪日外国人旅行消費額は8兆1,257億円(前年比53.1%増)である。前年と比べると、すべての国籍・地域においてプラスとなっており、前年からの伸びに対する寄与度を見ると、特に中国、台湾、アメリカが高い(表II-1-1)。

また、2024年の訪日外国人旅行消費額を訪日外客数で割ることによって算出した一般客の一人当たり旅行支出は、22.7万円(前年比6.6%増)であった(図II-1-3)。これは、円安の影響等による買物代の増加が主な要因と考えられる(図II-1-4、図II-1-5)。

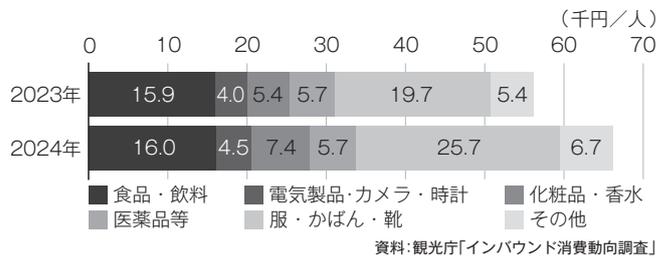
図II-1-3 訪日外国人旅行消費額の推移



図II-1-4 費目別に見る訪日外国人一人当たり旅行支出(一般客)



図II-1-5 費目別に見る訪日外国人一人当たり買物代(一般客)

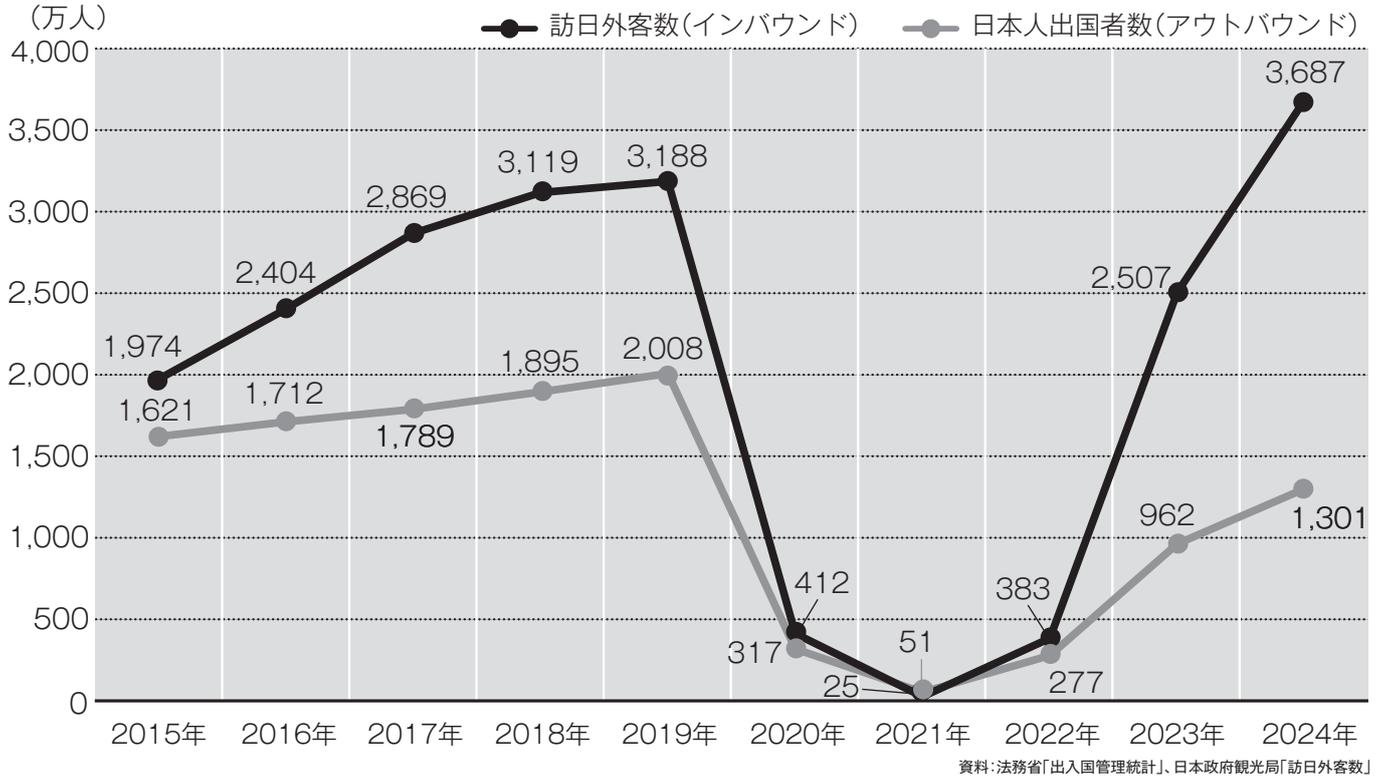


(4) 日本人海外旅行との対比

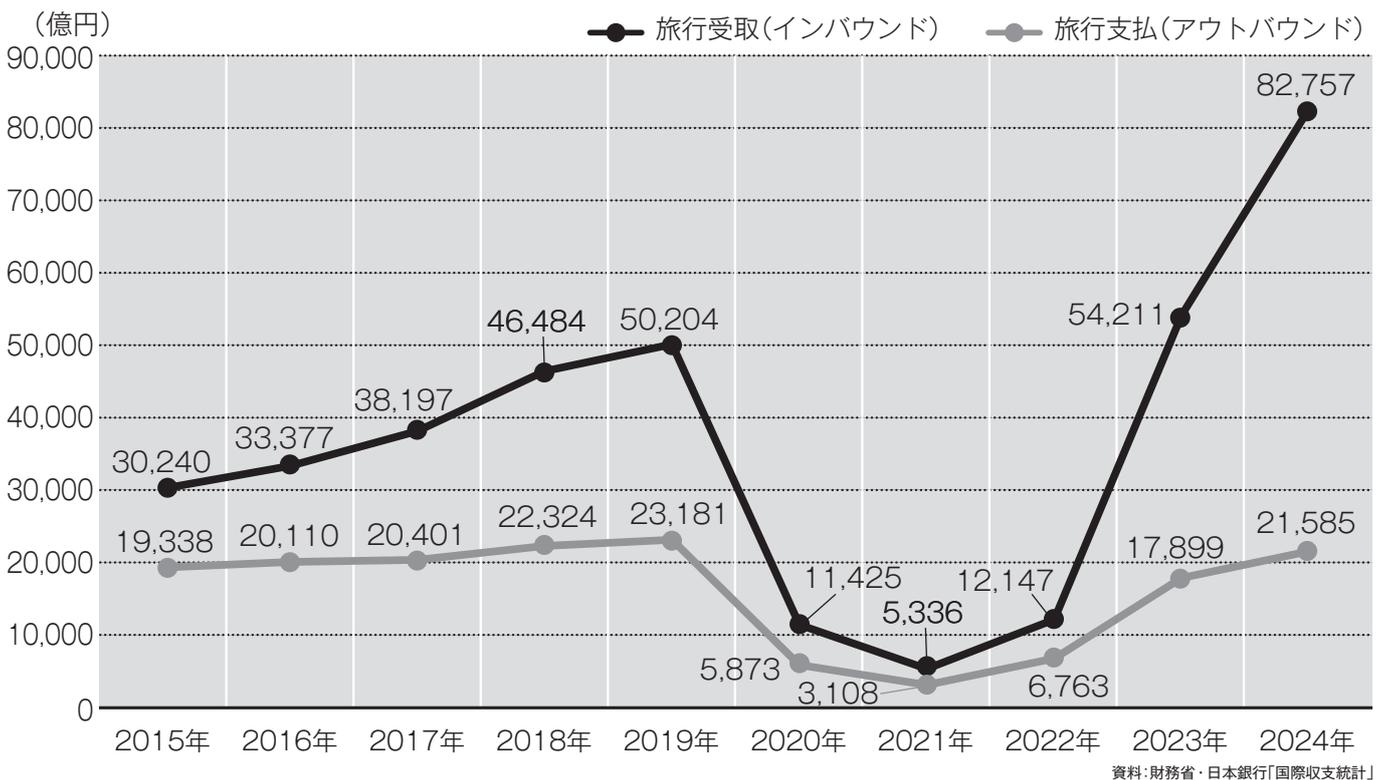
2024年も2015年以降の傾向と同様に、外国人の訪日旅行(インバウンド旅行)が日本人の海外旅行(アウトバウンド旅行)を人数、国際収支ともに上回る状況が続いている。特に訪日外客数は過去最高を記録し、3,687万人となった。一方で、日本人出国者数は回復が遅れており、1,301万人(2019年比35.2%減、前年比35.2%増)であった(図II-1-6)。

また、経済取引面からの視点として財務省・日本銀行「国際収支統計」を見ると、2024年は旅行受取(インバウンド)が1996年以降過去最高であった前年をさらに上回り、8兆2,757億円となった。一方で、旅行支払(アウトバウンド)は2兆1,585億円であり、旅行受取(インバウンド)が旅行支払(アウトバウンド)の約4倍となり、その差は前年よりもさらに開く結果となった(図II-1-7)。(園部容子)

図II-1-6 訪日外客数及び日本人出国者数の推移



図II-1-7 国際収支における旅行受取及び旅行支払の推移



**2 市場別に見る訪日旅行動向**

2024年の訪日外客数・訪日外国人旅行消費額は前年比はすべての市場でプラス、2019年比は市場により回復に差が見られる状況

(1) 国籍・地域別に見る訪日旅行動向

2024年の訪日外客数を国籍・地域別に見ると、前年比はすべての市場でプラスとなった。2019年比は、中国、タイ、ロシアでマイナスとなり回復が遅れている状況だが、そのほかは2

桁伸長している市場が多い。

直近10年間について国籍・地域別に見ると、2024年も2019年以前や前年と同様に、上位3か国籍・地域は韓国、中国、台湾となっている(表Ⅱ-1-2)。

2024年のクルーズ客を除いた一般客(以下、一般客)の一人当たり旅行支出を国籍・地域別に見ると、ヨーロッパやアメリカ、カナダ、オーストラリアで高く、30万円超えとなっている。いずれも宿泊費、飲食費が占める割合が高く、この2費目で6~7割となっている(表Ⅱ-1-3)。

表Ⅱ-1-2 訪日外客数の推移(国籍・地域別)

(単位: 万人) (単位: %)

年	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2024年／2019年比	2024年／2023年比
訪日外客数全体	1,973.7	2,404.0	2,869.1	3,119.2	3,188.2	411.6	24.6	383.2	2,506.6	3,687.0	15.6	47.1
東アジア												
韓国	②400.2	②509.0	②714.0	②753.9	②558.5	③48.8	1.9	①101.3	①695.8	①881.8	57.9	26.7
台湾	③367.7	③416.8	③456.4	③475.7	③489.1	②69.4	0.5	②33.1	②420.2	③604.4	23.6	43.8
香港	152.4	183.9	223.2	220.8	229.1	34.6	0.1	26.9	211.4	268.3	17.1	26.9
中国	①499.4	①637.4	①735.6	①838.0	①959.4	①106.9	4.2	18.9	③242.5	②698.1	△27.2	187.9
東南アジア												
タイ	79.7	90.2	98.7	113.2	131.9	22.0	0.3	19.8	99.6	114.9	△12.9	15.4
シンガポール	30.9	36.2	40.4	43.7	49.2	5.5	0.1	13.2	59.1	69.1	40.4	16.9
マレーシア	30.5	39.4	44.0	46.8	50.2	7.7	0.2	7.4	41.6	50.7	1.1	21.9
インドネシア	20.5	27.1	35.2	39.7	41.3	7.8	0.5	12.0	42.9	51.8	25.4	20.6
フィリピン	26.8	34.8	42.4	50.4	61.3	10.9	0.6	12.7	62.2	81.9	33.5	31.6
ベトナム	18.5	23.4	30.9	38.9	49.5	15.3	2.7	28.4	57.4	62.1	25.5	8.2
欧米・その他												
インド	10.3	12.3	13.4	15.4	17.6	2.7	0.9	5.4	16.6	23.3	32.5	40.1
イギリス	25.8	29.2	31.0	33.4	42.4	5.1	0.7	5.7	32.1	43.7	3.1	36.0
ドイツ	16.3	18.3	19.6	21.5	23.7	3.0	0.5	4.6	23.3	32.6	37.8	39.6
フランス	21.4	25.3	26.9	30.5	33.6	4.3	0.7	5.3	27.7	38.5	14.5	38.8
イタリア	10.3	11.9	12.6	15.0	16.3	1.4	0.4	2.4	15.2	23.0	41.2	50.9
スペイン	7.7	9.2	10.0	11.9	13.0	1.2	0.3	1.6	11.6	18.2	40.0	57.3
ロシア	5.4	5.5	7.7	9.5	12.0	2.2	0.4	1.0	4.2	9.9	△17.3	136.5
アメリカ	103.3	124.3	137.5	152.6	172.4	21.9	2.0	③32.4	204.6	272.5	58.1	33.2
カナダ	23.1	27.3	30.6	33.1	37.5	5.3	0.4	5.6	42.6	57.9	54.4	36.1
オーストラリア	37.6	44.5	49.5	55.2	62.2	14.4	0.3	8.9	61.3	92.0	48.0	50.1
その他	85.7	98.0	109.5	119.9	138.1	21.2	7.0	36.7	134.4	192.2	39.2	43.0
うちクルーズ客(再掲)	-	193.6	244.9	233.8	202.6	12.0	0.0	0.0	16.6	125.7	-	△38.0

(注)①②③は各年で訪日外客数が多い国籍・地域の順位を示す。

資料: 日本政府観光局「訪日外客数」、法務省「出入国管理統計」

表Ⅱ-1-3 費目別に見る訪日外国人一人当たり旅行支出と旅行消費額(一般客、国籍・地域別、2024年)

(単位: 円/人) (単位: 億円)

国籍・地域	旅行支出総額	宿泊費	飲食費	交通費	娯楽等サービス	買物代	その他	旅行消費額
全国籍・地域	226,851	76,743	48,907	24,398	10,706	66,046	50	80,790
東アジア								
韓国	109,103	34,588	29,600	9,253	6,797	28,853	12	9,595
台湾	187,512	53,784	39,074	18,066	8,006	68,554	28	10,825
香港	248,882	74,018	53,767	22,856	8,896	88,905	441	6,598
中国	276,604	73,143	49,728	21,995	12,378	119,351	10	16,901
東南アジア								
タイ	197,305	60,734	45,362	22,236	6,541	62,322	109	2,263
シンガポール	291,047	109,422	65,855	29,906	10,258	75,592	14	2,003
マレーシア	216,437	74,159	45,649	27,279	12,487	56,849	14	1,091
インドネシア	215,034	73,871	43,263	29,679	10,090	58,086	46	1,108
フィリピン	185,518	57,627	37,889	18,977	9,279	61,747	0	1,509
ベトナム	221,401	73,637	50,967	21,930	9,685	65,181	1	1,373
欧米・その他								
インド	241,590	104,283	46,897	34,608	8,738	47,051	13	561
イギリス	381,318	169,708	82,359	53,886	19,284	56,046	35	1,658
ドイツ	333,027	151,557	75,596	49,681	11,779	44,415	1	1,048
フランス	360,952	148,420	78,897	55,957	14,529	63,123	26	1,387
イタリア	358,471	146,699	84,837	65,263	13,911	47,760	0	821
スペイン	368,428	147,328	82,006	68,199	16,577	54,318	0	670
ロシア	327,325	122,328	75,522	44,120	14,869	70,487	0	318
アメリカ	331,976	142,256	72,435	42,384	16,560	58,336	5	9,008
カナダ	306,272	125,112	69,351	42,764	14,504	54,539	2	1,764
オーストラリア	380,492	162,803	81,221	49,598	29,704	57,127	40	3,491
その他	354,834	146,116	78,781	51,535	14,905	63,486	10	6,796

資料: 観光庁「インバウンド消費動向調査」

①韓国

2024年の韓国人出国者数は2,869万人で、前年比で約3割増となった(表II-1-7)。韓国人におけるアジア各国・地域の方  
面別訪問者数について、直近10年の状況を見ると、2015年なら  
びにコロナ禍を除いて「日本」は1位であり、直近の2024年  
は最も多い882万人(前年比26.7%増)となった(表II-1-4、表  
II-1-6)。

観光庁「インバウンド消費動向調査」によると、2024年に日  
本を訪れた韓国人の平均泊数は4.2泊で、前年から0.5泊減少  
した。また、観光レジャー目的の比率は87.1%と前年と同程  
度であるが、2019年と比較すると、9ポイントほど増加してい  
る。リピーター率は79.3%、ツアー利用率は13.6%となっ  
ており、前年や2019年と同様の傾向である(表II-1-4)。

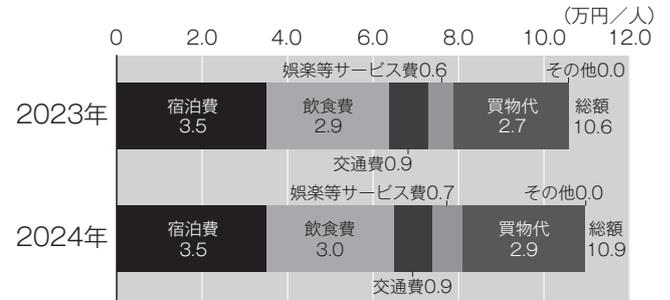
また、訪日韓国人(一般客)の一人当たり旅行支出は10.9万  
円で、前年比2.6%の増加となった。平均泊数は若干減少した  
ものの、泊数と連動する「宿泊費」や「飲食費」以外にも、「娯  
楽等サービス費」や「買物代」等、前年と比較して全体的に大き  
な変化は見られない(図II-1-8)。また、「買物代」のうち、最  
も購入率が高かったのは「菓子類」の83.5%で、購入者単価は  
11,085円であった。例年の傾向と変わらず、食に関する費目  
の購入率が高い(表II-1-5)。

表II-1-4 訪日韓国人の旅行動向

	2019年	2023年	2024年	前年差	前年比
訪日韓国人旅行者数(万人)	558	696	882	186	26.7%
平均泊数(泊)	5.1	4.7	4.2	△0.5	△10.4%
観光レジャー比率	77.8%	87.0%	87.1%	0.1pt	0.1%
リピーター率	79.2%	76.5%	79.3%	2.7pt	3.6%
ツアー利用率	14.7%	13.7%	13.6%	△0.0pt	△0.3%

資料:観光庁「インバウンド消費動向調査」

図II-1-8 訪日韓国人の一人当たり旅行支出(一般客)



資料:観光庁「インバウンド消費動向調査」

表II-1-5 費目別購入率及び購入者単価(韓国・一般客、2024年)

購入率順位	費目	購入率(%)	購入者単価(円/人)
1位	菓子類	83.5	11,085
2位	その他食料品・飲料・たばこ	46.6	10,925
3位	酒類	38.2	10,713
4位	医薬品	35.5	13,368
5位	衣類	27.2	28,846
6位	化粧品・香水	21.4	23,775
7位	靴・かばん・革製品	12.3	51,331
8位	健康グッズ・トイレタリー	5.6	17,393
9位	民芸品・伝統工芸品	4.2	13,603
10位	本・雑誌・ガイドブック等	2.5	8,796

資料:観光庁「インバウンド消費動向調査」

表II-1-6 アジア各国・地域への韓国人訪問者数

(単位:万人)

訪問先	基準	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年
日本	NFV	400.2	509.0	714.0	753.9	558.5	48.8	1.9	101.3	695.8	881.8
台湾	RFV	65.9	88.4	105.4	101.9	124.3	17.9	0.3	5.2	74.5	101.0
香港	RFV	128.5	143.5	153.6	146.2	107.1	4.1	0.1	0.8	41.0	85.5
中国	NFV	444.4	476.2	385.5	419.2	434.7	-	-	-	-	-
タイ	NFT	137.3	146.4	171.8	179.7	189.1	26.0	1.2	53.9	166.0	186.9
シンガポール	RFV	57.7	56.7	63.1	62.9	64.6	9.0	0.7	21.8	57.1	59.5
マレーシア	NFV	42.1	44.4	48.5	61.7	67.3	12.0	0.3	14.6	40.1	47.6
インドネシア	RFT	35.4	34.4	42.3	35.9	38.8	7.6	0.9	12.1	34.7	43.6
フィリピン	RFT	134.0	147.5	160.8	162.4	198.9	33.9	0.6	42.8	145.1	156.7
ベトナム	RFV	115.2	154.4	241.5	343.5	429.1	84.0	3.3	76.9	359.5	456.9
カンボジア	RFT	39.5	35.7	34.5	30.2	25.4	5.6	0.6	6.4	17.0	19.2

[N] 国籍別統計 / [R] 居住地別統計 / [F] 国境到着者数 / [V] 日帰りを含む旅行者数 / [T] 宿泊を伴った旅行者数

資料:韓国観光公社「국민 해외관광객 주요 목적지별 통계」

表II-1-7 韓国基本情報

年	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2028
①人口(万人) <sup>*1</sup>	5,102	5,122	5,136	5,159	5,177	5,184	5,177	5,167	5,171	5,175	5,146
②韓国人出国者数(万人) <sup>*2</sup>	1,931	2,238	2,650	2,870	2,871	428	196	655	2,272	2,869	-
③出国率(%) (②÷①)	37.9	43.7	51.6	55.6	55.5	8.2	3.8	12.7	43.9	55.4	-
④訪日韓国人旅行者数(万人) <sup>*3</sup>	400.2	509.0	714.0	753.9	558.5	48.8	1.9	101.3	695.8	881.8	-
⑤出国者に占める訪日旅行者比率(④÷②)	20.7	22.7	26.9	26.3	19.4	11.4	1.0	15.5	30.6	30.7	-
⑥為替レート(100円/韓国ウォン) <sup>*1</sup>	10.7	9.4	9.9	10.0	9.4	9.0	9.6	10.2	10.8	11.1	-
⑦GDP成長率(%) <sup>*1</sup>	2.9	3.2	3.4	3.2	2.3	△0.7	4.6	2.7	1.4	2.0	2.1
⑧一人当たりGDP(米ドル) <sup>*1</sup>	30,172	30,826	33,297	35,364	33,827	33,653	37,518	34,822	35,563	36,129	38,850

(注)斜体は推計値。

資料:国際通貨基金(※1)、韓国観光公社(※2)、日本政府観光局(※3)の公表値をもとに(公財)日本交通公社作成

②台湾

2024年の台湾人出境者数は1,685万人で、前年比で約4割増となった(表II-1-11)。また、訪日台湾人旅行者数は近年、急速に伸長しており、2024年は604万人(前年比43.8%増)となった(表II-1-8、表II-1-11)。台湾人の訪問先上位5位の国・地域について見ると、日本は昨年に引き続き最多であり、人数は2019年以降で見ても最多となっている(表II-1-10)。

観光庁「インバウンド消費動向調査」によると、2024年に日本を訪れた台湾人の平均泊数は6.0泊で前年から1.0泊減少した。また、観光レジャー目的の比率は93.7%であり、2019年や前年と比較すると増加傾向にある。リピーター率は前年や2019年とはほぼ変動が見られない。ツアー利用率は30.7%となっており、前年と比較して増加した(表II-1-8)。

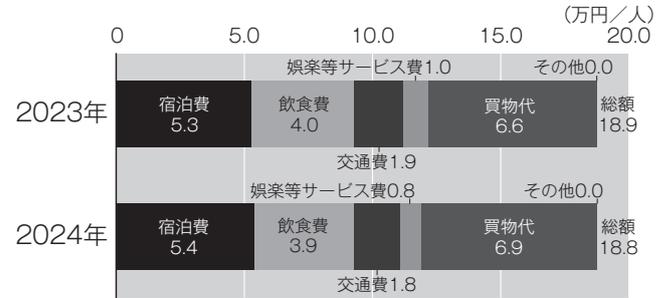
また、訪日台湾人(一般客)の一人当たり旅行支出は18.8万円、費目別では全体的に大きな変動は見られないが、買物代は増加した(図II-1-9)。これは、2019年以降継続的に円安が進んでいる影響もあると考えられる(表II-1-11)。買物代のうち、最も購入率が高かったのは「菓子類」の79.8%で、購入者単価は6,786円であった。また、食関連のみならず、「医薬品」や「衣類」等の購入率も高い(表II-1-9)。

表II-1-8 訪日台湾人の旅行動向

	2019年	2023年	2024年	前年差	前年比
訪日台湾人旅行者数(万人)	489	420	604	184	43.8%
平均泊数(泊)	6.1	7.0	6.0	△1.0	△13.8%
観光レジャー比率	88.5%	90.9%	93.7%	2.8pt	3.0%
リピーター率	86.8%	88.6%	86.8%	△1.7pt	△2.0%
ツアー利用率	34.7%	28.8%	30.7%	1.9pt	6.6%

資料:観光庁「インバウンド消費動向調査」

図II-1-9 訪日台湾人の一人当たり旅行支出(一般客)



資料:観光庁「インバウンド消費動向調査」

表II-1-9 費目別購入率及び購入者単価(台湾・一般客、2024年)

購入率順位	費目	購入率(%)	購入者単価(円/人)
1位	菓子類	79.8	6,786
2位	医薬品	50.2	6,604
3位	衣類	49.1	19,425
4位	その他食料品・飲料・たばこ	44.7	5,464
5位	化粧品・香水	33.4	8,179
6位	靴・かばん・革製品	29.9	31,882
7位	健康グッズ・トイレタリー	25.3	12,992
8位	酒類	17.9	8,728
9位	生鮮農産物	10.2	4,746
10位	電気製品(デジタルカメラ/PC/家電等)	8.6	30,347

資料:観光庁「インバウンド消費動向調査」

表II-1-10 方面別台湾人旅行者数

	2019年			2020年			2021年			2022年			2023年			2024年		
	国・地域	人数(万人)	前年比(%)	国・地域	人数(万人)	前年比(%)	国・地域	人数(万人)	前年比(%)	国・地域	人数(万人)	前年比(%)	国・地域	人数(万人)	前年比(%)	国・地域	人数(万人)	前年比(%)
1位	日本	491.2	1.8	日本	69.8	△85.8	中国	12.9	△69.0	日本	35.4	2421.3	日本	422.6	1093.0	日本	600.6	42.1
2位	中国	404.4	△3.1	中国	41.5	△89.7	米国	10.4	△27.8	米国	21.6	108.0	中国	176.1	961.6	中国	277.0	57.3
3位	香港	167.6	△1.2	香港	16.4	△86.4	日本	1.4	△98.0	中国	16.6	29.0	韓国	95.5	1119.0	韓国	142.9	49.7
4位	韓国	120.9	11.3	韓国	15.8	△81.4	シンガポール	1.4	△79.2	ベトナム	13.3	1097.5	ベトナム	85.4	541.0	ベトナム	126.3	48.0
5位	ベトナム	85.3	29.5	ベトナム	15.8	△90.6	香港	1.3	△92.0	タイ	10.5	1215.1	タイ	77.7	641.1	香港	120.4	61.9

(注) 出発地側の発表データであり、到着地側が公表している各国の到着者数とは一致しない。

資料:台湾交通部観光署

表II-1-11 台湾基本情報

	年	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2028
①人口(万人) <sup>*1</sup>		2,349	2,354	2,357	2,359	2,360	2,356	2,338	2,327	2,342	2,340	2,332
②台湾人出境者数(万人) <sup>*2</sup>		1,318	1,459	1,565	1,664	1,710	234	36	148	1,180	1,685	—
③出境率(%) (②÷①)		56.1	62.0	66.4	70.6	72.5	9.9	1.5	6.4	50.4	72.0	—
④訪日台湾人旅行者数(万人) <sup>*3</sup>		367.7	416.8	456.4	475.7	489.1	69.4	0.5	33.1	420.2	604.4	—
⑤出境者に占める訪日旅行者比率(④÷②)		27.9	28.6	29.2	28.6	28.6	29.7	1.4	22.3	35.6	35.9	—
⑥為替レート(円/台湾ドル) <sup>*1*4</sup>		3.8	3.4	3.7	3.7	3.5	3.6	3.9	4.4	4.5	4.7	—
⑦GDP成長率(%) <sup>*1</sup>		1.5	2.2	3.7	2.9	3.1	3.4	6.7	2.7	1.1	4.3	2.3
⑧一人当たりGDP(米ドル) <sup>*1</sup>		22,753	23,071	25,102	25,889	25,993	28,728	33,239	32,909	32,337	33,437	39,452

(注) 斜体は推計値。

資料:国際通貨基金(\*1)、台湾交通部観光署(\*2)、日本政府観光局(\*3)、連邦準備制度理事会(\*4)の公表値をもとに(公財)日本交通公社作成

### ③香港

2024年の香港人出境者数は1億470万人で、前年比では45.0%増となった(表Ⅱ-1-14)。また、2024年の訪日香港人旅行者数は268万人で、前年比26.9%増となった。出境者に占める訪日旅行者比率は2.6%と、コロナ禍前と同水準である(表Ⅱ-1-12、表Ⅱ-1-14)。

観光庁「インバウンド消費動向調査」によると、2024年に日本を訪れた香港人の平均泊数は6.8泊で前年から0.4泊減少した。また、観光レジャー目的の比率は94.7%、リピーター率は90.0%と前年と同様の傾向である。ツアー利用率は10.1%となり、2019年と比較すると、ツアー利用率が減少傾向にある(表Ⅱ-1-12)。

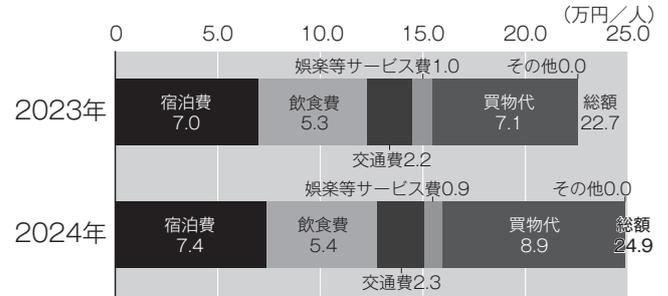
また、訪日香港人(一般客)の一人当たり旅行支出は24.9万円、前年比9.5%の増加となった。費目別に見ると、全体的に増加傾向となったが、特に「買物代」の増加が大きい(図Ⅱ-1-10)。買物代のうち、最も購入率が高かったのは「菓子類」の71.2%で、次いで「衣類」(56.2%)、「化粧品・香水」(38.6%)であった(表Ⅱ-1-13)。

表Ⅱ-1-12 訪日香港人の旅行動向

	2019年	2023年	2024年	前年差	前年比
訪日香港人旅行者数(万人)	229	211	268	57	26.9%
平均泊数(泊)	6.1	7.2	6.8	△0.4	△5.5%
観光レジャー比率	91.6%	92.8%	94.7%	1.8pt	2.0%
リピーター率	88.1%	91.3%	90.0%	△1.3pt	△1.4%
ツアー利用率	21.1%	11.1%	10.1%	△1.0pt	△9.0%

資料：観光庁「インバウンド消費動向調査」

図Ⅱ-1-10 訪日香港人の一人当たり旅行支出(一般客)



資料：観光庁「インバウンド消費動向調査」

表Ⅱ-1-13 費目別購入率及び購入者単価(香港・一般客、2024年)

購入率順位	費目	購入率(%)	購入者単価(円/人)
1位	菓子類	71.2	12,861
2位	衣類	56.2	25,736
3位	化粧品・香水	38.6	19,379
4位	その他食料品・飲料・たばこ	38.6	8,506
5位	靴・かばん・革製品	36.2	44,224
6位	医薬品	34.3	17,447
7位	健康グッズ・トイレットリー	15.3	16,670
8位	酒類	13.9	8,421
9位	生鮮農産物	9.5	7,563
10位	民芸品・伝統工芸品	5.7	9,514

資料：観光庁「インバウンド消費動向調査」

表Ⅱ-1-14 香港基本情報

年	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2028
①人口(万人) <sup>*1</sup>	731	738	742	749	752	743	740	747	753	753	769
②香港人出境者数(万人) <sup>*2</sup>	8,908	9,176	9,130	9,221	9,471	826	91	218	7,220	10,470	—
③出境率(%) (②÷①)	1218.6	1243.7	1231.3	1231.5	1259.3	111.2	12.2	29.2	959.1	1389.7	—
④訪日香港人旅行者数(万人) <sup>*2</sup>	152.4	183.9	223.2	220.8	229.1	34.6	0.1	26.9	211.4	268.3	—
⑤出境者に占める訪日旅行者比率(④÷②)	1.7	2.0	2.4	2.4	2.4	4.2	0.1	12.3	2.9	2.6	—
⑥為替レート(円/香港ドル) <sup>*1*3</sup>	15.6	14.0	14.4	14.1	13.9	13.9	14.1	16.8	17.9	19.4	—
⑦GDP成長率(%) <sup>*1</sup>	2.4	2.2	3.8	2.8	△1.7	△6.5	6.5	△3.7	3.2	2.5	2.5
⑧一人当たりGDP(米ドル) <sup>*1</sup>	42,325	43,488	46,026	48,310	48,278	46,446	49,849	47,999	50,621	54,034	62,908

(注) 斜体は推計値。

資料：国際通貨基金(\*1)、日本政府観光局(\*2)、連邦準備制度理事会(\*3)の公表値をもとに(公財)日本交通公社作成

④中国

2024年の中国人出国者数は1億4,589万人で、前年比では44.5%増となった。なお、コロナ禍前は年々上昇を続けていた出国率を見ると、2024年は10.4%であり、回復傾向である(表II-1-17)。また、2024年の訪日中国人旅行者数は698万人(前年比187.9%増)となった(表II-1-15)。

観光庁「インバウンド消費動向調査」によると、2024年の訪日中国人の平均泊数は9.2泊で、前年から7泊減少したものの、2019年と比較すると1.7泊増加した。また、観光レジャー目的の比率は82.4%と2019年水準に戻っている。リピーター率は58.1%、ツアー利用率は14.1%であり、前年やコロナ禍前と異なる客層である(表II-1-15)。

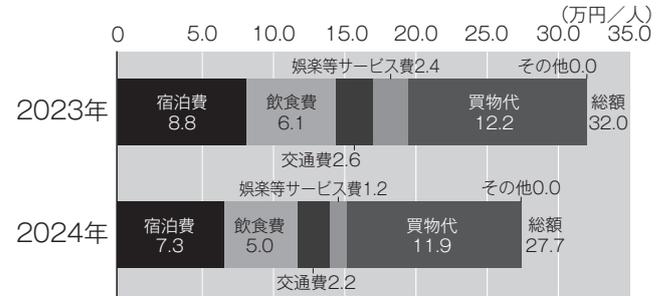
また、訪日中国人(一般客)の一人当たり旅行支出は27.7万円、前年比13.6%減となった。宿泊費や飲食費以外にも、「娯楽等サービス費」や「買物代」等、全体的に減少が見られた(図II-1-11)。特に「娯楽等サービス費」の減少が大きい。明確な要因の特定はできないが、留学目的の割合が減少したことで、学費(「娯楽等サービス費」に含む)が減額したことも一因と考えられる。また、「買物代」のうち購入率が高い費目を見ると、「菓子類」、「化粧品・香水」、「衣類」が上位3位となっている(表II-1-16)。「菓子類」や「衣類」は前年や2019年と購入率に大きな変化は見られないものの、「化粧品・香水」の購入率は、2019年(81.9%)と比較すると大きく減少した。

表II-1-15 訪日中国人の旅行動向

	2019年	2023年	2024年	前年差	前年比
訪日中国人旅行者数(万人)	959	243	698	456	187.9%
平均泊数(泊)	7.5	16.2	9.2	△7.0	△43.0%
観光レジャー比率	84.2%	64.0%	82.4%	18.4pt	28.7%
リピーター率	50.0%	65.0%	58.1%	△6.9pt	△10.6%
ツアー利用率	34.0%	5.2%	14.1%	9.0pt	173.0%

資料:観光庁「インバウンド消費動向調査」

図II-1-11 訪日中国人の一人当たり旅行支出(一般客)



資料:観光庁「インバウンド消費動向調査」

表II-1-16 費目別購入率及び購入者単価(中国・一般客、2024年)

購入率順位	費目	購入率(%)	購入者単価(円/人)
1位	菓子類	75.3	15,062
2位	化粧品・香水	54.0	24,148
3位	衣類	42.5	37,422
4位	その他食料品・飲料・たばこ	40.9	11,516
5位	医薬品	35.0	14,511
6位	靴・かばん・革製品	29.4	62,070
7位	健康グッズ・トイレットリー	15.6	17,321
8位	酒類	13.2	12,638
9位	電気製品(デジタルカメラ/PC/家電等)	7.9	39,859
10位	民芸品・伝統工芸品	6.2	19,692

資料:観光庁「インバウンド消費動向調査」

表II-1-17 中国基本情報

年	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2028
①人口(万人) <sup>*1</sup>	138,326	139,232	140,011	140,541	141,008	141,212	141,260	141,175	140,967	140,828	139,520
②中国人出国者数(万人) <sup>*2</sup>	12,786	13,513	14,273	16,199	16,921	-	-	-	10,097	14,589	-
③出国率(%) (②÷①)	9.2	9.7	10.2	11.5	12.0	-	-	-	7.2	10.4	-
④訪日中国人旅行者数(万人) <sup>*3</sup>	499.4	637.4	735.6	838.0	959.4	106.9	4.2	18.9	242.5	698.1	-
⑤出国者に占める訪日旅行者比率(④÷②)	3.9	4.7	5.2	5.2	5.7	-	-	-	2.4	4.8	-
⑥為替レート(円/中国元) <sup>*1</sup>	19.5	16.4	16.6	16.7	15.8	15.4	17.0	19.5	19.8	21.0	-
⑦GDP成長率(%) <sup>*1</sup>	7.0	6.8	6.9	6.8	6.1	2.3	8.6	3.1	5.4	5.0	4.1
⑧一人当たりGDP(米ドル) <sup>*1</sup>	8,174	8,222	8,930	10,040	10,334	10,696	12,878	12,968	12,961	13,313	16,559

(注1)斜体は推計値。

(注2)②中国人出国者数は香港・マカオへの出境者を含むが、日帰りは含んでいない。

資料:国際通貨基金(※1)、中国国家统计局(※2)、日本政府観光局(※3)の公表値をもとに(公財)日本交通公社作成

⑤タイ

2024年の訪日タイ人旅行者数は115万人(前年比15.4%増)で、2019年水準までの回復には至っていない(表II-1-18、表II-1-20)。

観光庁「インバウンド消費動向調査」によると、2024年に日本を訪れたタイ人の平均泊数は8.0泊で前年から1.3泊減少した。また、観光レジャー目的の比率は84.1%と、2019年や前年と比較すると増加傾向にある。リピーター率は73.4%で前年や2019年と同水準、ツアー利用率は21.4%で、2019年と比較すると減少している(表II-1-18)。

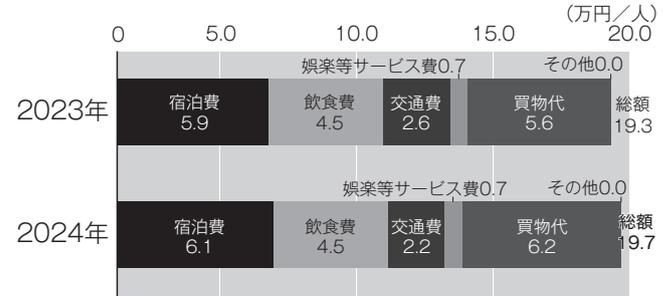
また、訪日タイ人(一般客)の一人当たり旅行支出は19.7万円、前年比2.0%の増加となった。費目別に見ると、増加したものの、減少したものに分かれており、最も金額が増えたのは「買物代」である(図II-1-12)。これは、昨年に引き続き、円安の水準が直近10年間で最も高い状況にある影響が大きいものと推測される(表II-1-20)。また、「買物代」のうち、最も購入率が高かったのは「菓子類」の81.3%で、上位5費目は前年や2019年と変わらない(表II-1-19)。

表II-1-18 訪日タイ人の旅行動向

	2019年	2023年	2024年	前年差	前年比
訪日タイ人旅行者数(万人)	132	100	115	15	15.4%
平均泊数(泊)	8.8	9.3	8.0	△1.3	△14.1%
観光レジャー比率	77.2%	82.8%	84.1%	1.3pt	1.5%
リピーター率	72.2%	78.3%	73.4%	△5.0pt	△6.3%
ツアー利用率	28.9%	19.5%	21.4%	1.9pt	9.8%

資料:観光庁「インバウンド消費動向調査」

図II-1-12 訪日タイ人の一人当たり旅行支出(一般客)



資料:観光庁「インバウンド消費動向調査」

表II-1-19 費目別購入率及び購入者単価(タイ・一般客、2024年)

購入率順位	費目	購入率(%)	購入者単価(円/人)
1位	菓子類	81.3	12,361
2位	衣類	48.7	45,417
3位	その他食料品・飲料・たばこ	41.3	12,133
4位	化粧品・香水	41.3	40,196
5位	靴・かばん・革製品	38.7	97,874
6位	酒類	15.4	16,985
7位	医薬品	10.8	18,671
8位	健康グッズ・トイレットリー	6.3	25,456
9位	生鮮農産物	4.6	13,361
10位	電気製品(デジタルカメラ/PC/家電等)	4.3	66,434

資料:観光庁「インバウンド消費動向調査」

表II-1-20 タイ基本情報

年	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2028
①人口(万人) <sup>*1</sup>	6,872	6,897	6,921	6,943	6,963	6,980	6,995	7,008	7,018	7,027	7,040
②タイ人出国者数(万人) <sup>*2</sup>	679	820	896	996	1,045	-	-	-	848	-	-
③出国率(%) (②÷①)	9.9	11.9	12.9	14.3	15.0	-	-	-	12.1	-	-
④訪日タイ人旅行者数(万人) <sup>*2</sup>	79.7	90.2	98.7	113.2	131.9	22.0	0.3	19.8	99.6	114.9	-
⑤出国者に占める訪日旅行者比率(④÷②)	11.7	11.0	11.0	11.4	12.6	-	-	-	11.7	-	-
⑥為替レート(円/バーツ) <sup>*1</sup>	3.5	3.1	3.3	3.4	3.5	3.4	3.4	3.7	4.0	4.3	-
⑦GDP成長率(%) <sup>*1</sup>	3.1	3.4	4.2	4.2	2.1	△6.1	1.5	2.6	2.0	2.5	2.1
⑧一人当たりGDP(米ドル) <sup>*1</sup>	5,840	5,993	6,594	7,299	7,813	7,170	7,236	7,073	7,351	7,492	8,434

(注)斜体は推計値。

資料:国際通貨基金(\*1)、日本政府観光局(\*2)の公表値をもとに(公財)日本交通公社作成

⑥アメリカ

2024年のアメリカ人出国者数は前年比では8.3%増の7,375万人となった(表II-1-24)。また、2024年の訪日アメリカ人旅行者数は前年比33.2%増の272万人で、アメリカ人出国者数に占める訪日旅行者の比率は3.7%と、2019年以降の最高水準となった(表II-1-21、表II-1-24)。

また、アメリカ人の方面別旅行者数を見ると、2024年の上位国・地域はコロナ禍前の2019年と変わらない。一方で、日本の順位は上がっており、2024年は全体で7位、アジアでは1位となった(表II-1-23)。

観光庁「インバウンド消費動向調査」によると、2024年に日本を訪れたアメリカ人の平均泊数は12.1泊で、前年から変化は見られなかった。また、観光レジャー目的の比率は73.9%であり、前年や2019年と比較して割合が高くなっている。リピーター率は39.9%と大きな変動はなく、ツアー利用率は2019年以降、減少傾向にある(表II-1-21)。

また、訪日アメリカ人(一般客)の一人当たり旅行支出は33.2万円で、前年比11.8%の増加となった。費目別に見ると、全体的に増加が見られたが、特に「宿泊費」と「買物代」の寄与度(それぞれ4.2%、4.1%)が大きい(図II-1-13)。これは2022年以降の急激な円安による影響が大きいものと考えられる(表II-1-24)。買物代のうち最も購入率が高かったのは「その他食料品・飲料・たばこ」の52.7%であった。また、前述の東アジアの国・地域やタイと比較して、「民芸品・伝統工芸品」の購入率が20.6%と高いことも特徴である(表II-1-22)。

表II-1-21 訪日アメリカ人の旅行動向

	2019年	2023年	2024年	前年差	前年比
訪日アメリカ人旅行者数(万人)	172	205	272	68	33.2%
平均泊数(泊)	12.4	12.1	12.1	△0.0	△0.3%
観光レジャー比率	52.3%	64.2%	73.9%	9.6pt	15.0%
リピーター率	48.1%	41.4%	39.9%	△1.5pt	△3.6%
ツアー利用率	8.2%	7.1%	6.3%	△0.8pt	△11.1%

資料：観光庁「インバウンド消費動向調査」

図II-1-13 訪日アメリカ人の一人当たり旅行支出(一般客)



資料：観光庁「インバウンド消費動向調査」

表II-1-22 費目別購入率及び購入者単価(アメリカ・一般客、2024年)

購入率順位	費目	購入率(%)	購入者単価(円/人)
1位	その他食料品・飲料・たばこ	52.7	12,191
2位	衣類	52.6	23,114
3位	菓子類	51.7	16,422
4位	酒類	29.7	10,668
5位	民芸品・伝統工芸品	20.6	6,083
6位	靴・かばん・革製品	20.0	34,284
7位	化粧品・香水	17.9	23,020
8位	本・雑誌・ガイドブック等	10.7	9,834
9位	音楽・映像・ゲーム等ソフトウェア	7.4	16,661
10位	電気製品(デジタルカメラ/PC/家電等)	5.4	37,925

資料：観光庁「インバウンド消費動向調査」

表II-1-23 方面別アメリカ人旅行者数全体

2018年		2019年		2020年		2023年		2024年					
国・地域	人数(万人)	国・地域	人数(万人)	国・地域	人数(万人)	国・地域	人数(万人)	国・地域	人数(万人)	2019年比(%)	前年比(%)		
1位	イギリス	392.7	1位	イギリス	394.3	1位	ドミニカ共和国	101.4	1位	イギリス	468.6	18.8%	△9.7%
2位	フランス	300.8	2位	イタリア	318.1	2位	ジャマイカ	64	2位	イタリア	341.2	7.3%	△21.7%
3位	イタリア	292.4	3位	フランス	313.7	3位	イギリス	62	3位	フランス	333	6.2%	△10.5%
4位	ドミニカ共和国	288.2	4位	ドミニカ共和国	295.7	4位	コスタリカ	39.4	4位	ドミニカ共和国	300.1	1.5%	△13.7%
5位	ドイツ	233.9	5位	スペイン	224	5位	インド	39.4	5位	スペイン	238.4	6.4%	△6.4%
13位	日本	117	9位	日本	143.4	14位	日本	22.6	7位	日本	164.4	14.6%	△23.7%

アジア

2018年		2019年		2020年		2023年		2024年					
国・地域	人数(万人)	2019年比(%)	前年比(%)										
1位	中国	158.7	1位	中国	156.8	1位	インド	39.4	1位	日本	164.4	14.6%	△23.7%
2位	インド	125.3	2位	日本	143.4	2位	フィリピン	30.5	2位	インド	123.3	△8.3%	△32.0%
3位	日本	117	3位	インド	134.4	3位	日本	22.6	3位	フィリピン	86.3	△8.3%	△11.8%
4位	フィリピン	91.9	4位	フィリピン	94.1	4位	韓国	14.8	4位	韓国	65.8	△8.2%	△25.3%
5位	韓国	71	5位	韓国	71.7	5位	タイ	14.8	5位	中国	49.3	△68.6%	-

(注1) 出発地側の発表データであり、到着地側が公表している各国の到着者数とは一致しない。

(注2) メキシコ、カナダの数値は、2024年の値がまだ公表されていないため、掲載しているすべての暦年から「メキシコ」、「カナダ」を除いた。

資料：アメリカ商務省国際貿易局の公表値をもとに(公財)日本交通公社作成

表II-1-24 アメリカ基本情報

年	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2028
①人口(万人) <sup>*1</sup>	32,093	32,322	32,528	32,702	32,855	33,131	33,245	33,427	33,701	34,010	34,848
②アメリカ人出国者数(万人) <sup>*2</sup>	—	—	—	—	6,104	1,597	2,925	5,514	6,808	7,375	—
③出国率(%) (②÷①)	—	—	—	—	18.6	4.8	8.8	16.5	20.2	21.7	—
④訪日アメリカ人旅行者数(万人) <sup>*3</sup>	103.3	124.3	137.5	152.6	172.4	21.9	2.0	32.4	204.6	272.5	—
⑤出国者に占める訪日旅行者比率(④÷②)	—	—	—	—	2.8	1.4	0.1	0.6	3.0	3.7	—
⑥為替レート(円/米ドル) <sup>*1</sup>	121.1	108.7	112.1	110.4	109.0	108.2	109.8	131.6	140.5	151.4	—
⑦GDP成長率(%) <sup>*1</sup>	2.9	1.8	2.5	3.0	2.6	△ 2.2	6.1	2.5	2.9	2.8	2.1
⑧一人当たりGDP(米ドル) <sup>*1</sup>	57,007	58,180	60,293	63,165	65,561	64,454	71,232	77,801	82,254	85,812	98,547

(注1) 斜体は推計値。

(注2) ②アメリカ人出国者数はメキシコやカナダへの陸路による出国者数を除いた数値 (International Air Travel Statistics)。

(注3) 出発地側の発表データであり、到着地が公表している各国の到着者数とは一致しない。

資料：国際通貨基金(※1)、アメリカ商務省国際貿易局(※2)、日本政府観光局(※3)の公表値をもとに(公財)日本交通公社作成

(2)都道府県別に見る訪日旅行動向

①訪問者数

2024年における訪日外国人の都道府県別訪問者数を見ると、東京都(1,834万人)や大阪府(1,409万人)、千葉県(1,302万人)、京都府(1,050万人)でいずれも1,000万人を超えと特に多い。次いで、福岡県、神奈川県、奈良県が300万人台、山梨県、愛知県、北海道が200万人台、兵庫県、沖縄県、大分県、広島県、静岡県、岐阜県、長野県で100万人台となっており、大都市やその周辺部、ゴールデンルート上等で多くなっている。一方で、山陰地方、四国地方では少なく、10万人に満たない県も存在する。

都道府県別訪問者数の2019年比を見ると、山形県、福島県、山梨県、広島県、福岡県でいずれも50%以上増となっており、訪問者数を大きく伸ばしている。一方で、茨城県、鳥取県、鳥根県、鹿児島県では20%以上減となっており、コロナ禍前の状態に戻っていない(図Ⅱ-1-14)。

②クルーズ客数

船舶観光上陸許可を受けた外国人(クルーズ客数)は、前年から大幅に回復し、125.6万人となった。前年に引き続き、博多港や長崎港、那覇港で特に多く、この3港で2024年全体の約7割を占める。

国籍・地域別では、中国が約87万人、台湾が約27万人と多く、この2国籍・地域で全体の約9割を占めている。訪日外客数全体の傾向と同様で、回復が遅れていた中国が大幅に伸長する結果となった(表Ⅱ-1-25)。

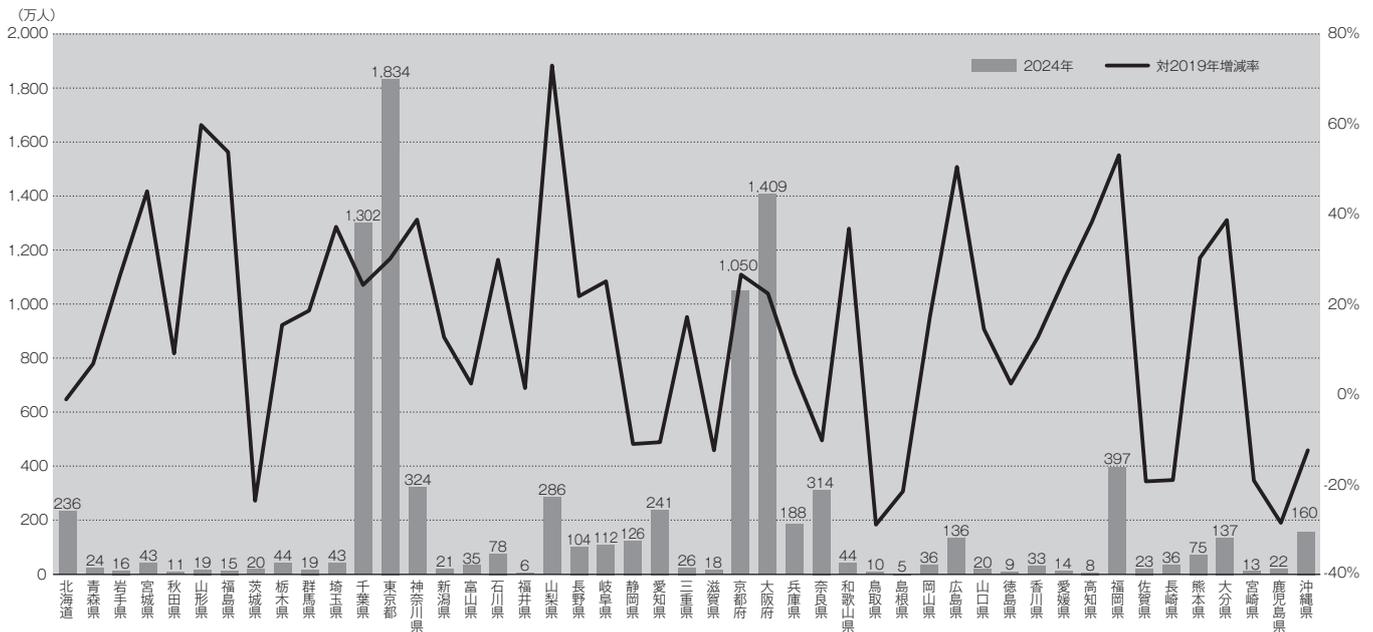
表Ⅱ-1-25 上陸港別、国籍・地域別クルーズ客数 (単位:人)

上陸港	国籍・地域					
	全国籍・地域	韓国	台湾	香港	中国	その他
日本全国	1,256,518	23,393	271,155	32,175	870,993	58,802
関門港	12,300	4	16	33	12,160	87
博多港	371,652	301	9,184	3,902	349,419	8,846
長崎港	189,597	1,255	11,628	1,036	161,281	14,397
佐世保港	126,123	3,386	5,047	598	114,994	2,098
鹿児島港	26,673	14	14,497	2,863	6,421	2,878
那覇港	318,630	5,641	136,708	21,826	138,662	15,793
平良港	47,195	528	28,930	407	15,697	1,633
石垣港	99,270	479	53,236	1,178	36,636	7,741
その他	65,078	11,785	11,909	332	35,723	5,329

(注)「関門港」は下関港、門司港を含む。

資料:法務省「出入国管理統計」

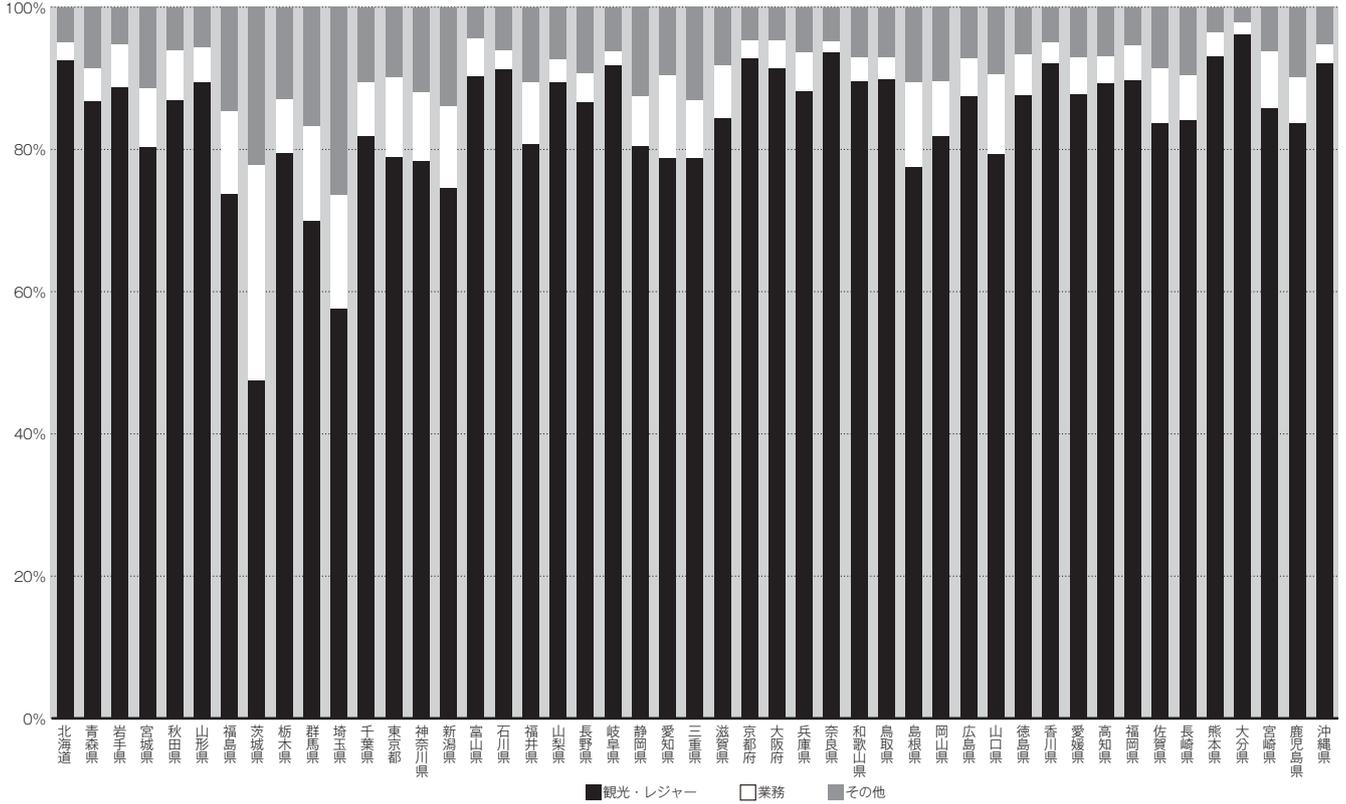
図Ⅱ-1-14 都道府県別訪日外国人訪問者数(2024年)



(注)2023年は1~3月期のB1.地域調査を中止しており、暦年値がないため、2019年と比較した。

資料:観光庁「インバウンド消費動向調査」

図II-1-15 都道府県別訪日外国人訪問者の主な旅行目的(2024年)



資料:観光庁「インバウンド消費動向調査」

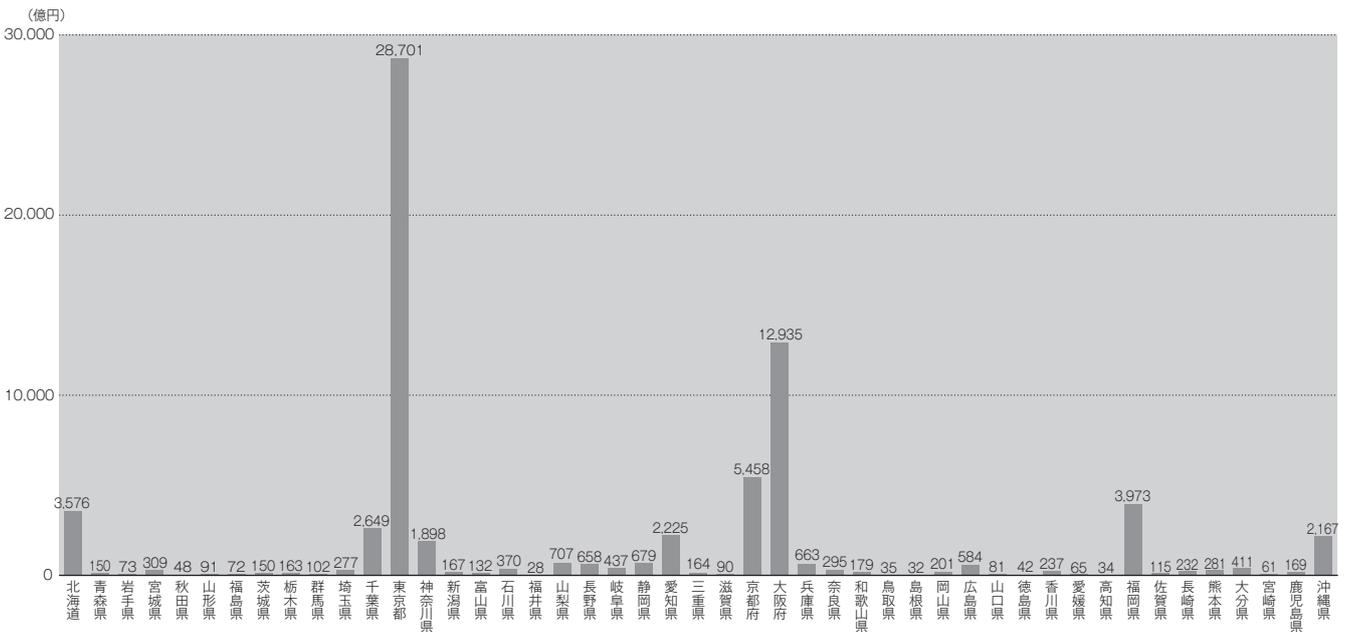
③主な旅行目的

各都道府県を訪問する外国人旅行者の主な旅行目的を見ると、多くの地域で「観光・レジャー」目的客の比率が7～9割を占めている。一方で、茨城県、埼玉県では「業務」目的や、親族・知人訪問や留学等を含む「その他」目的の割合が高く、「観光・レジャー」目的は5～6割程度となっている(図II-1-15)。

④旅行消費額

2024年の都道府県別訪日外国人旅行消費額は、東京都で圧倒的に高く2兆8,701億円、次いで大阪府で1兆2,935億円となっている。また、京都府(5,458億円)、福岡県(3,973億円)、北海道(3,576億円)も3,000億円以上と高い(図II-1-16)。

図II-1-16 都道府県別訪日外国人旅行消費額(2024年)



資料:観光庁「インバウンド消費動向調査」

⑤ 国籍・地域比率(訪日外国人観光客)

各都道府県を訪問する外国人旅行者のうち、「観光・レジャー」目的客(以下、訪日外国人観光客)のみにしぼって、国籍・地域別比率を示す。

東アジアは国籍・地域によって訪問地が大きく異なる状況である。韓国人比率は九州地方で高い傾向にあり、特に福岡県、大分県における比率が高く、訪日外国人観光客の約6割を韓国人が占めている。また、北海道、山口県における比率も高い。台湾人比率は特に東北地方で高く、いずれの県でも4~7割を占めている。また、富山県、愛媛県、高知県、沖縄県でも4割以上と高く、全国各地に分散している。香港人比率は福井県、三重県、鳥取県、徳島県、鹿児島県で高い傾向が見られ、いずれも2割以上を占めている。中国人比率は首都圏、山梨県、静岡県、愛知県、関西圏等で高い。

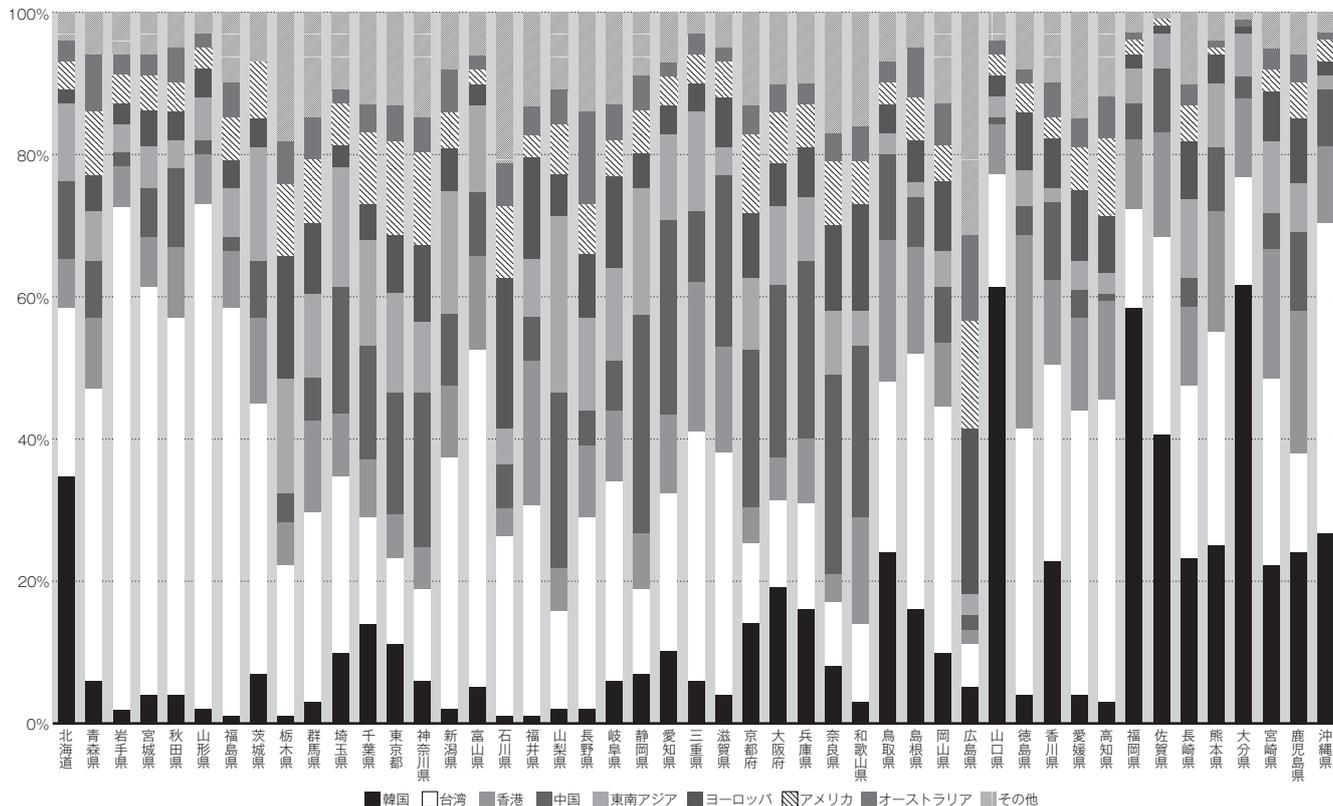
東南アジア人比率は関東地方や中部地方を中心に高い傾向が見られ、ほかにも新潟県、山梨県、静岡県等で約2~3割程度を占めている。

欧米豪の比率は有名歴史観光地を抱える地方の都道府県において高い点が共通しており、栃木県(日光)、石川県(金沢)、広島県(宮島)等で高い。このうち広島県は特に高く、欧米豪を合わせた訪問者の比率は5割に達する(図II-1-17)。

⑥ 平均泊数と旅行支出

訪日外国人観光客による、都道府県別の平均泊数と旅行支出(パッケージツアー等参加費の訪問地収入分を含む)を見ると、泊数の長さや旅行支出は概ね連動していることがわかる。この傾向はコロナ禍前や前年と変わらない。北海道や東京都、沖縄県は平均泊数が長く、旅行支出も高い。逆に、日帰り客の多い奈良県や、成田空港利用者が大半の千葉県は平均泊数が短く、旅行支出も低い。一方で、茨城県や群馬県、埼玉県、福井県、徳島県等は、平均泊数が長いにもかかわらず、旅行支出は低い(図II-1-18)。

図II-1-17 都道府県別訪日外国人観光客の国籍・地域比率(観光・レジャー目的客、2024年)



資料:観光庁「インバウンド消費動向調査」

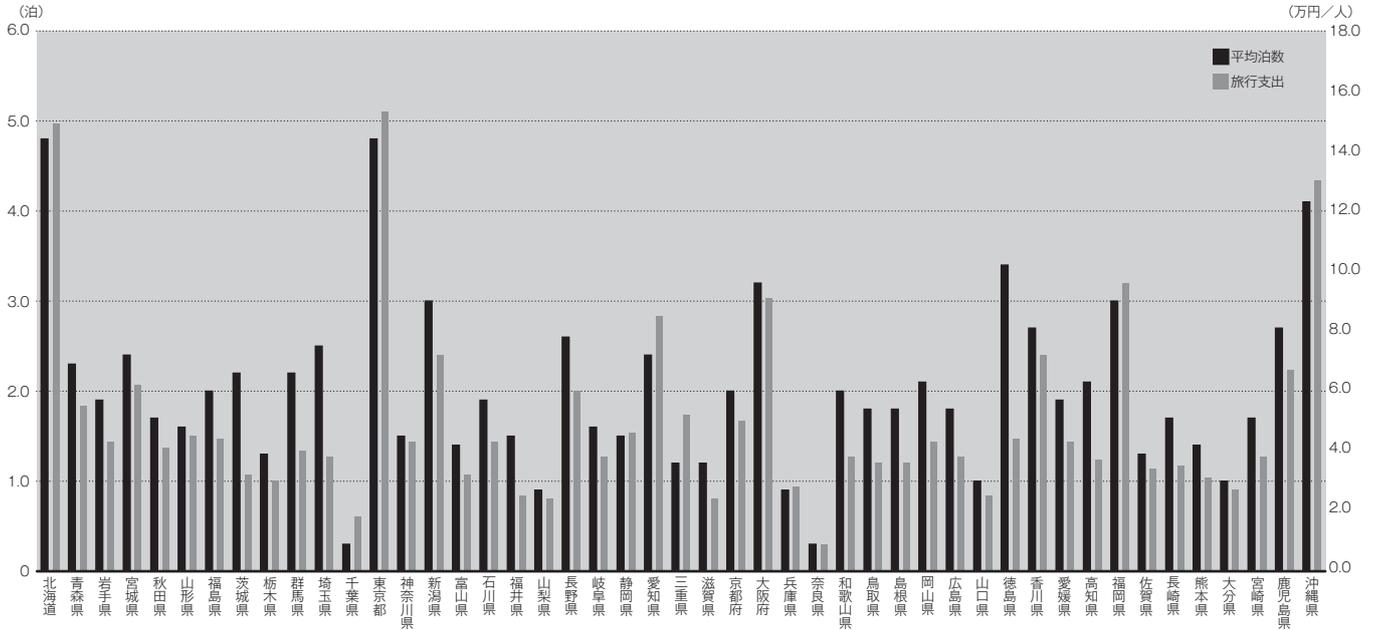
地域ブロック別に見ると、平均泊数は関東地方、近畿地方、北海道の順で長い。旅行中支出は関東地方で16.7万円と突出して高く、次いで近畿地方、北海道、沖縄、九州地方の順となっている(表II-1-26)。

国籍・地域別に見ると、多くの地方で香港、中国の旅行中支出が高い。中国は北海道や関東地方で高く、18万円を超え

る。また、表章しているどの国籍・地域でも、東京都や大阪府における旅行中支出が高い傾向は変わらないが、アメリカのみ大阪府と京都府の旅行中支出額が近い額であり、ほかの国籍・地域と比較しても京都府での旅行中支出が高い(表II-1-26)。

(園部容子)

図II-1-18 都道府県別訪日外国人観光客の平均泊数及び旅行支出(2024年)



資料:観光庁「インバウンド消費動向調査」

表II-1-26 国籍・地域別の訪問地ブロック別訪日外国人観光客の平均泊数及び旅行中支出(2024年)

[平均泊数]		(単位:泊)						
訪問地	国籍・地域	全国籍・地域						
	地域	韓国	台湾	香港	中国	タイ	アメリカ	
北海道	4.8	3.5	5.0	6.1	5.2	5.3	5.0	
東北	4.2	3.8	4.2	4.5	3.8	-	4.9	
関東	5.4	3.8	4.7	5.2	4.3	4.9	6.3	
北陸信越	2.8	3.2	2.2	2.3	2.6	2.4	2.9	
中部	2.6	2.7	3.0	3.5	2.1	2.3	2.2	
近畿	4.8	3.5	4.8	5.5	4.3	4.4	5.0	
中国	2.1	1.5	3.2	2.2	3.3	-	1.7	
四国	4.0	2.6	4.2	4.5	4.0	-	3.6	
九州	3.8	2.9	5.0	5.5	4.8	5.5	3.7	
沖縄	4.1	3.4	3.8	4.6	4.6	-	7.6	

(以下再掲)

東京都	4.8	3.4	3.9	4.6	3.6	4.0	5.7
大阪府	3.2	2.9	3.1	3.9	2.9	3.5	2.9
京都府	2.0	0.6	1.8	1.5	1.5	1.1	2.9

(注1) 訪問地における泊数の平均値である。  
 (注2) 地方区分は国土交通省地方運輸局の管轄都道府県に基づく。  
 (注3) サンプル数が少ない数値は非表示としている。

[旅行中支出]		(単位:万円/人)						
訪問地	国籍・地域	全国籍・地域						
	地域	韓国	台湾	香港	中国	タイ	アメリカ	
北海道	12.1	8.9	10.8	18.8	18.0	11.9	14.0	
東北	8.3	6.8	8.5	10.2	9.1	-	7.3	
関東	16.7	10.7	16.1	21.7	18.1	14.6	19.8	
北陸信越	5.4	4.1	4.1	6.3	6.8	4.3	5.8	
中部	7.0	7.2	8.1	13.0	7.7	6.0	4.9	
近畿	12.4	8.0	11.4	17.7	14.9	12.8	13.3	
中国	3.8	3.3	6.0	4.6	7.9	-	3.2	
四国	7.8	5.6	9.3	13.8	9.5	-	6.3	
九州	10.7	8.1	11.6	20.5	17.8	13.8	8.1	
沖縄	11.9	10.1	11.0	16.4	16.0	-	16.1	

(以下再掲)

東京都	14.6	9.4	13.3	19.0	15.8	12.1	17.5
大阪府	8.6	6.5	8.2	13.0	11.0	10.0	7.5
京都府	4.6	1.4	3.3	4.6	3.7	2.9	7.9

(注1) 訪問地における一人当たり旅行中支出の平均値である。  
 (注2) パッケージツアー参加費に含まれる宿泊料金等の滞在費は含まない。  
 (注3) 地方区分は国土交通省地方運輸局の管轄都道府県に基づく。  
 (注4) サンプル数が少ない数値は非表示としている。

資料:いずれも観光庁「インバウンド消費動向調査」

### 3 世界の国際観光動向

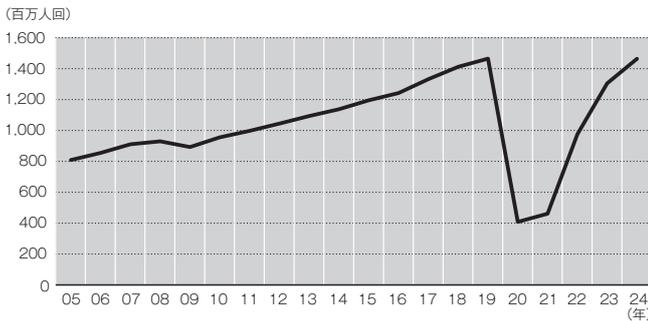
2024年の世界の国際観光客到着数は14.7億人回で  
2019年水準に回復

#### (1)インバウンド(到着地側)の動向

##### ●国際観光客到着数

国連世界観光機関(UN Tourism)の最新データ(2025年5月時点)によると、2024年における世界全体の国際観光客到着数(International Tourist Arrivals)は前年から約1.6億人回増(前年比12.2%増)の14.7億人回であり、コロナ禍前の水準に戻った(図II-1-19、表II-1-27)。

図II-1-19 国際観光客到着数の推移



(注)2024年は暫定値。  
資料:国連世界観光機関「Tourism Highlights」及び「World Tourism Barometer」

2024年の国際観光客到着数の状況は、到着地域別で差が見られた。2021年から先行して回復を見せていたヨーロッパやアメリカ、中東に比べて、アジア太平洋地域の前年比が高く、地域全体で33.8%増だが、2019年比では12.3%減であり、回復

表II-1-27 世界の国際観光客到着数(到着地域別)

		到着地域別国際観光客到着数 (百万人回)										シェア (%)	増減率 (%)		
		年	2000	2005	2010	2015	2019	2020	2021	2022	2023		2024	2024	2024/2019
世界全体			680	809	956	1,196	1,466	408	461	976	1,306	1,465	100.0	△0.1	12.2
到着地域	ヨーロッパ		392.6	452.9	490.6	605.0	743.9	240.8	302.8	610.7	710.2	755.7	51.6	1.6	6.4
	アジア太平洋		110.4	154.1	208.2	284.6	362.1	59.0	26.5	92.7	237.4	317.5	21.7	△12.3	33.8
	北東アジア		58.4	85.9	111.5	142.1	170.3	20.3	10.9	20.5	94.9	144.9	9.9	△14.9	52.6
	東南アジア		36.3	49.0	70.5	104.2	138.1	25.6	3.1	41.6	97.5	121.4	8.3	△12.1	24.4
	オセアニア		9.6	10.9	11.5	14.3	17.5	3.6	0.9	6.8	12.9	14.4	1.0	△17.4	11.5
	南アジア		6.1	8.3	14.7	24.0	36.3	9.6	11.7	23.8	31.9	36.8	2.5	1.6	15.3
	アメリカ		128.2	133.3	150.3	194.1	219.3	69.7	81.7	157.1	200.2	216.6	14.8	△1.2	8.2
	アフリカ		26.2	34.8	50.4	53.5	68.8	18.9	19.9	47.2	65.1	73.9	5.0	7.4	13.5
	中東		22.4	34.0	56.1	58.3	71.6	19.4	30.5	68.0	93.4	101.2	6.9	41.3	8.3

(注1)2024年は暫定値。  
(注2)「増減率」は国連世界観光機関の公表値を掲載しているため、国際観光客到着数から算出した結果と一致しないケースがある。

資料:国連世界観光機関「World Tourism Barometer」

しているもののコロナ禍前の水準には戻っていない。コロナ禍前の水準と比較すると、中東が最も伸長しており、2019年比41.3%増(前年比8.3%増)であった(表II-1-27)。

2024年の国際観光客到着数の上位10か国・地域は、欧米諸国が中心となった中で、中国が7位、日本が10位にランクインした。回復が遅れていた北東アジアの国・地域は、前年比で見ると回復傾向にあるものの、2019年比ははまだマイナスであり、回復途上である(表II-1-28)。

表II-1-28 国際観光客到着数ランキング(到着国・地域別)

2024年 順位	到着国・ 地域	到着国・地域別国際観光客到着数 (百万人回)							増減率(%)		到着数 調査方法
		年	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2024/ 2019	2024/ 2023	
1位	フランス		90.9	41.7	48.4	93.2	100.0	102.0	12.2	2.0	TF
2位	スペイン		83.5	18.9	31.2	71.7	85.2	93.8	12.3	10.1	TF
3位	アメリカ		79.4	19.2	22.3	50.8	66.3	72.4	△8.9	9.1	TF
4位	トルコ		51.2	15.9	29.9	50.5	55.2	60.6	18.3	9.8	TF
5位	イタリア		64.5	25.2	26.9	49.8	57.2	57.7	△10.5	0.8	TF
6位	メキシコ		45.0	24.3	31.9	38.3	41.9	45.0	0.0	7.4	TF
7位	中国		65.7	8.0	5.7	-	-	-	-	-	TF
8位	イギリス		39.4	10.7	6.3	30.7	37.2	-	-	-	TF
9位	ドイツ		39.6	12.4	11.7	28.5	34.8	37.5	△5.2	7.8	TCE
10位	日本		31.9	4.1	0.2	3.8	25.1	36.9	15.6	47.1	VF

(11位以下の主な北東アジアの国・地域)

18位	香港	23.8	1.4	0.1	0.6	17.2	21.9	△7.6	27.9	TF
27位	韓国	17.5	2.5	1.0	3.2	11.0	16.4	△6.5	48.4	VF
45位	台湾	11.9	1.4	0.1	0.9	6.5	7.9	△33.8	21.1	VF

[TF] 国境での調査(日帰りを除く) / [VF] 国境での調査(日帰りを含む) / [TCE] 宿泊施設(非営利を含む)での調査  
(注1)2024年は暫定値。  
(注2)中国、イギリスは2024年値の公表がないため、掲載なし。  
(注3)「増減率」は国連世界観光機関の公表値を掲載しているため、国際観光客到着数から算出した結果と一致しないケースがある。

資料:国連世界観光機関「World Tourism Barometer」

表II-1-29 世界の国際観光収入(到着地域別)

年	到着地域別国際観光収入 (10億米ドル)								シェア (%)	増減率 (現地通貨基準) (%)		到着地域別 国際観光客 到着数 (百万人回)	一人当たり 国際観光収入 (米ドル/人回)
	2010	2015	2019	2020	2021	2022	2023	2024		2024	2024/2019		
世界全体	980	1,202	1,487	558	638	1,126	1,536	1,731	100.0	14.7	11.4	1,465.0	1,182
到着地域													
ヨーロッパ	427.5	449.8	585.4	249.3	329.3	553.0	666.3	725.3	41.9	20.3	5.7	755.7	960
アジア太平洋	254.3	355.0	441.2	126.3	90.6	160.0	341.3	422.9	24.4	△4.4	23.6	317.5	1,332
北東アジア	122.9	167.1	187.2	44.9	44.9	49.2	136.2	176.4	10.2	△4.3	31.6	144.9	1,217
東南アジア	68.5	108.6	147.0	31.2	11.0	49.4	102.6	131.7	7.6	△10.9	27.7	121.4	1,085
オセアニア	42.8	47.7	61.4	32.7	20.3	30.9	57.9	65.5	3.8	4.2	10.5	14.4	4,549
南アジア	20.1	31.6	45.7	17.5	14.3	30.5	44.6	49.3	2.8	4.8	7.2	36.8	1,340
アメリカ	215.2	306.0	331.0	125.4	142.5	262.0	353.5	392.9	22.7	16.0	8.6	216.6	1,814
アフリカ	30.4	32.6	39.5	14.9	17.8	33.0	38.1	42.6	2.5	5.8	9.6	73.9	576
中東	52.2	58.7	90.3	41.9	58.0	118.0	136.8	147.6	8.5	60.6	6.0	101.2	1,458

(注1) 2024年は暫定値。  
(注2) 「一人当たり国際観光収入」は(公財)日本交通公社算出。  
(注3) 「増減率」は国連世界観光機関の現地通貨基準値を掲載しているため、国際観光収入額から算出した結果と一致しないケースがある。

資料: 国連世界観光機関「World Tourism Barometer」

●国際観光収入

2024年の国際観光収入(International Tourism Receipts)は、世界全体でおよそ1兆7,310億米ドル(前年比11.4%増、2019年比14.7%増)と推計され、2019年を超える結果となった。

到着地域別に見ると、前年に引き続きすべての地域で前年比プラスとなった。特に北東アジア、東南アジアでの回復が顕著であるが、国際観光客到着数と同様で、2019年水準には戻っていない(表II-1-29)。

2024年の国際観光収入を到着国・地域別に見ると、上位は欧米諸国が中心となった中で、日本は8位にランクインした。前年比で見ると、特に中国、日本の伸びが大きい(表II-1-30)。

表II-1-30 国際観光収入ランキング(到着国・地域別)

2024 順位	到着国・ 地域	到着国・地域別国際観光収入 (10億米ドル)							増減率 (現地 通貨 基準) (%)	到着 地域別 国際 観光客 到着数 (百万 人回)	一人回 当たり 国際 観光 収入 (米ドル /人回)
		年	2019	2020	2021	2022	2023	2024			
1位	アメリカ	199.0	72.5	71.4	142.9	189.1	215.0	13.7	72.4	2,970	
2位	スペイン	79.7	18.5	34.5	72.9	92.0	106.5	15.7	93.8	1,135	
3位	イギリス	58.4	26.7	33.0	67.6	73.4	84.5	12.0	—	—	
4位	フランス	63.5	32.6	40.8	59.7	71.2	77.1	8.2	102.0	756	
5位	イタリア	49.5	19.9	25.0	43.7	55.9	58.7	4.9	57.7	1,017	
6位	アラブ首長国連邦	30.7	19.7	27.6	49.3	51.9	57.0	9.7	—	—	
7位	トルコ	34.3	14.3	28.1	45.8	50.1	56.3	12.5	60.6	929	
8位	日本	46.1	10.7	4.9	9.2	38.6	54.7	52.7	36.9	1,482	
9位	オーストラリア	45.5	25.8	17.0	24.6	46.1	51.8	13.1	8.3	6,241	
10位	カナダ	29.8	13.9	15.4	32.0	45.4	49.4	10.3	19.9	2,482	
(11位以下の主な北東アジアの国・地域)											
14位	中国	35.8	10.0	11.3	13.5	25.0	39.7	60.5	—	—	
22位	香港	28.9	2.9	1.9	3.1	20.9	22.6	8.1	21.9	1,032	
26位	韓国	20.9	10.3	10.8	12.5	15.3	16.7	9.3	16.4	1,018	
36位	台湾	14.4	1.8	0.7	1.8	8.7	9.9	14.6	7.9	1,253	

(注1) 2024年は暫定値。  
(注2) 「一人当たり国際観光収入」は(公財)日本交通公社算出。  
(注3) イギリス、アラブ首長国連邦は2024年の「国際観光客到着数」の公表がないため、「一人当たり国際観光収入」は掲載なし。  
(注4) 「増減率」は国連世界観光機関の現地通貨基準値を掲載しているため、国際観光収入額から算出した結果と一致しないケースがある。

資料: 国連世界観光機関「World Tourism Barometer」

(2)アウトバウンド(出発地側)の動向

次に、出発地の国・地域別に世界の国際観光動向を概観する。国際観光支出(International Tourism Expenditure)を出発国・地域別に見ると、昨年に引き続き、中国が1位となった。

上位10か国・地域においては、前年比、2019年比いずれもプラスとなっている。また、回復が遅れていた北東アジア(中国を除く)は、前年比はいずれもプラスとなっているが、2019年比で見ると、香港以外はいまだマイナスの状況である(表II-1-31)。

(園部容子)

表II-1-31 国際観光支出ランキング(出発国・地域別)

2024 順位	出発国・ 地域	国際観光支出 (10億米ドル)								増減率 (現地通貨基準) (%)	
		年	2010	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2024/ 2019	2024/ 2023
1位	中国	54.9	254.6	131.1	109.4	114.8	194.4	250.6	2.6	30.2	
2位	アメリカ	86.6	132.0	34.4	59.0	118.6	158.7	177.8	34.7	12.0	
3位	ドイツ	78.1	93.2	38.9	51.0	89.7	115.4	120.3	33.4	4.1	
4位	イギリス	60.7	85.9	24.5	30.0	81.7	99.9	119.2	38.5	16.0	
5位	フランス	38.5	54.0	31.5	38.3	46.6	56.0	60.0	14.9	7.1	
6位	オーストラリア	—	35.3	7.6	1.2	19.6	42.4	45.6	36.1	8.3	
7位	カナダ	30.0	35.3	12.1	8.1	28.6	39.3	43.6	27.3	12.6	
8位	ロシア	26.7	36.2	9.1	11.4	20.8	34.7	38.8	7.3	11.6	
9位	イタリア	27.1	30.3	10.9	14.9	26.9	34.2	35.7	21.9	4.5	
10位	インド	10.5	22.9	12.6	14.3	25.9	33.3	35.0	81.3	6.3	
(11位以下の主な北東アジアの国・地域)											
13位	韓国	18.8	32.7	16.1	17.8	20.8	27.6	29.2	△10.8	5.7	
14位	香港	17.4	26.9	5.5	3.4	5.5	22.7	28.9	7.0	26.8	
20位	台湾	9.4	20.5	3.0	1.2	2.5	15.5	19.9	△2.9	28.3	
25位	日本	27.9	21.3	5.5	2.8	5.1	12.7	14.3	△6.9	20.6	

(注1) 2024年は暫定値。  
(注2) 「増減率」は国連世界観光機関の現地通貨基準値を掲載しているため、国際観光支出額から算出した結果と一致しないケースがある。

資料: 国連世界観光機関「World Tourism Barometer」